

令和2年7月1日14時00分  
資料配布 近畿地方整備局

## 猪名川の水質改善幅が3年連続で全国第1位 ～2019年近畿地方一級河川の水質現況を公表～

- ・ 10年前と比べて最もきれいになった川は、淀川水系猪名川(大阪府豊中市利倉地点)で、3年連続で全国1位を記録  
(BOD平均値 H21年:7.9mg/L→R元年:2.7mg/L 改善幅5.2mg/L)。
- ・ 2019年の最もきれいな川は、新宮川水系熊野川(和歌山県新宮市熊野大橋地点)など近畿では4河川。

2019年に実施した水質調査結果に基づき、近畿地方一級河川の水質現況を公表します。主な水質現況は以下のとおりです。

### ○過去10年間で水質が大きく改善した河川(地点)

猪名川(大阪府豊中市利倉地点 :改善幅 5.2mg/L) → 全国1位  
曾我川(奈良県北葛城郡河合町保橋地点 :改善幅 1.5mg/L)

### ○水のきれいな河川(地点別のBOD年平均水質が0.5mg/L\*の地点がある主要河川)

熊野川(和歌山県新宮市熊野大橋地点など)  
紀の川(和歌山県橋本市岸上橋地点)  
北川(福井県小浜市高塚地点など)  
揖保川(兵庫県宍粟市曲里地点など) \*環境省の定めるBODの報告下限値(0.5mg/L)

### ○環境基準(主にBOD)の満足状況

調査地点のうち、約9割の地点で環境基準を満足し、ここ5年間ほぼ横ばいです。

( 川や水に関する、特集ページを設けたパンフレットを近畿地方整備局河川部のホームページからご覧下さい。 <http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyau/suisitu.html> )

<取扱い>

<配布場所>近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、堺市政記者クラブ、在堺記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、福知山市政記者クラブ、舞鶴市政記者クラブ、綾部新聞記者クラブ、京都府政記者クラブ、宇治日刊記者クラブ、宮津市政記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、姫路市政記者クラブ、但馬県民局県政記者クラブ、豊岡市政記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ、五條市政記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、橋本市政記者クラブ、新宮記者クラブ、新宮中央記者会、福井県政記者クラブ、大野市政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、名張市政記者クラブ、伊賀記者会、熊野市記者クラブ

<問合せ先>近畿地方整備局 河川部 河川環境課 課長 藤井 節生  
課長補佐 北川 眞一  
TEL 06-6942-0608(直通)

# 水質現況(令和元年 BOD結果 概要)



<配付資料>



近畿管内BOD 代表河川地点

河川名	BOD0.5mg/L以下* 地点
熊野川	熊野大橋、熊野川河口
紀の川	岸上橋
北川	上中橋、高塚
揖保川	曲里、山崎

近畿管内BOD改善幅 代表河川地点一覧

項目	順位	河川名/地点名	BOD(mg/L)
改善幅	1	猪名川/利倉	5.2 (7.9 → 2.7)
	2	曾我川/保橋	1.5 (3.9 → 2.4)

( ) 内はH21年→R元年結果

熊野川は全国の水質が最も良好な河川  
(16河川)にも選定

「近畿1位」の利倉は全国1位

\* 環境省の定めるBOD報告下限(0.5mg/L)

## 配布資料

### 2019年近畿管内一級河川の水質現況の公表について（概要）

2019年の近畿管内一級河川で最も水質が改善した川は淀川水系猪名川の利倉地点（大阪府豊中市）で改善幅は全国一位を記録  
水質が最も良好だったのは、新宮川水系熊野川の熊野大橋地点（和歌山県新宮市）など

#### 1. 令和元年水質調査結果について

##### ＜主要河川の地点別年平均水質＞（パンフレットP5）

○各地点のBOD年平均値で見ると、熊野大橋、熊野川河口（熊野川）、上中橋、高塚（北川）、曲里、山崎（揖保川）、岸上橋（紀の川）が近畿で最も良好な水質（BOD 0.5mg/L）調査結果となった。

##### ＜過去10年間の水質改善状況＞（P6）

○下水道の普及や水質改善の取り組みにより、利倉（猪名川）、保橋（曾我川）、ではこの10年でBOD値が大幅に改善されている。

##### ＜生活環境の保全に関する環境基準の満足状況＞（P6）

○令和元年は、近畿地方一級河川（湖沼を含む）で環境基準のうち主要な指標であるBOD（またはCOD）の基準を満足している地点の割合は、89%の102地点となっている。（環境基準の類型が指定されている115調査地点での調査結果）

- 河川類型指定103地点中、環境基準を満足している地点は101地点
- 湖沼類型指定12地点中、環境基準を満足している地点は1地点

#### 2. 令和元年度ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果について

##### ＜ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果＞（P7、8）

○令和元年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、すべての地点においても水質・底質の環境基準（水質：1pg-TEQ/l 底質：150pg-TEQ/g）を満足していた。

○令和元年度に実施した内分泌かく乱物質の実態調査では、宮前橋（淀川）のエストロンが重点調査濃度を超過しました。

#### 3. 令和元年感覚的な水質指標による調査結果について

##### ＜感覚的な水質指標に基づく調査結果＞（P10）

○「感覚的な水質指標」に基づく調査は、従来の有機性汚濁の指標であるBODだけでなく多様な視点で評価するため、「人と河川の豊かなふれあいの確保」、「豊かな生態系の確保」、「利用しやすい水質の確保」という3つの視点別に住民との協働による調査を実施しています。

- 『人と河川の豊かなふれあいの確保（4段階）』の視点においては、

- A 「顔を川の水につけやすい」
- B 「川の中に入って遊びやすい」
- C 「川の中には入れないが、川に近づくことができる」
- D 「川の水に魅力がなく、川に近づきにくい」

の指標ランクを設定しており、A 「顔を川の水につけやすい」の地点が多かった。

- 『豊かな生態系の確保（4段階）』の視点においては、  
B 「生物の生息・成育・繁殖環境として良好」の地点が多かった。

- 『利用しやすい水質の確保（3段階）』の視点においては、  
A 「より利用しやすい」の地点が多かった。

#### 4. 水質事故等の発生状況について

##### <水質事故等の発生状況>（P13）

○令和元年に近畿地方整備局管内で発生した水質事故は73件。水系別では淀川水系の発生件数が32件で最多。事故の種類別では油類によるものが多く、原因別では工場等での操作ミスや、交通事故によるものが多い。なお、平成26年以降は概ね減少傾向であったが、令和元年は対前年比で約50%増加した。

【補足】平成30年の発生件数は、48件

近畿版の公表資料については、下記を参照してください。  
(近畿地方整備局 河川部HPに掲載)

<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyousuisitu.html>

全国版については、国土交通省 本省HPを参照してください。

[http://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyousuisitu/r1\\_suisitu.html](http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/r1_suisitu.html)

# 令和元年 近畿 一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Kinki



# 2019

- 水質調査結果
- 感覚的な水質指標による調査結果
- 水質事故等の発生状況
- 特集 「祭り」と川  
～古の伝統と河川の繋がり～
- コラム STOP！水質事故  
～拡散防止に向けた取り組み～

# 令和元年 近畿一級河川の水質現況 CONTENTS

## 特集

「祭り」と川 <small>いにしえ</small> ～古の伝統と河川の繋がり～	…	1
--	---	---

## 水質調査結果

主要河川の地点別年平均水質	…	5
過去10年間の水質改善状況	…	6
生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	…	6
ダイオキシン類実態調査結果	…	7
内分泌かく乱物質実態調査結果	…	8

## 感覚的な水質指標による調査結果

感覚的な水質指標による調査結果	…	10
-----------------	---	----

## 水質事故等の発生状況

水質事故等の発生状況	…	13
------------	---	----

## コラム

STOP! 水質事故 ～拡散防止に向けた取り組み～	…	14
---------------------------	---	----



②④ 御船祭 (和歌山県 新宮市) \*1

# 「祭り」と川

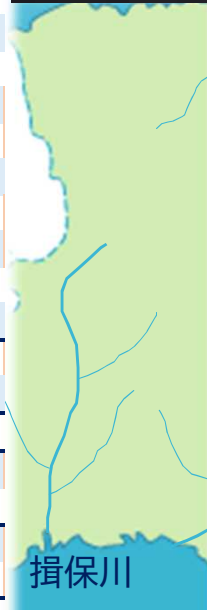
いにしえ  
～古の伝統と河川の繋がり～



近畿地方には、古来より伝統の祭りや行事がたくさん伝わっていますが、河川や水に係わるものも大変多くあります。コロナ禍においては、祭りやイベントも中止や延期、縮小などされる傾向にありますが、そんな時こそ、古くから続く祭り本来の伝統や文化を改めて知るとともに、きれいな川の意義を感じてみることも大切だと思います。

河川や水に係わる祭りのうち、いくつかをご紹介します。なお、開催の有無や状況などは変更になっていることもありますので、お出かけの前にはご注意ください。

府県	場所	祭りの名称	市町村	河川	時期	水系	
福井県	①	お水送り	小浜市	遠敷川	3月2日	北川水系	
	②	勝山左義長祭り	勝山市	九頭竜川	2月24・25日	九頭竜川水系	
	③	水海の田楽能舞	池田町	水海川	2月15日	九頭竜川水系	
滋賀県	④	山王祭	大津市	琵琶湖	4月12~15日	淀川水系	
	⑤	御手洗(みたらし)祭り	大津市	琵琶湖	7月28日	淀川水系	
	⑥	祇園納涼祭	愛荘町	愛知川	7月第2,3週	淀川水系	
京都府	⑦	雨乞祭	京都市	貴船川	3月9日	淀川水系	
	⑧	三船祭	京都市	大堰川	5月第3日曜	淀川水系	
	⑨	御田植祭	京都市	賀茂川	6月10日	淀川水系	
	⑩	貴船の水まつり	京都市	貴船川	7月8日	淀川水系	
	⑪	祇園祭	京都市	鴨川	7月10・28日	淀川水系	
	⑫	弁天祭り	京都市	宇治川	7月28日	淀川水系	
	⑬	嵐山の万灯流し	京都市	桂川	8月16日	淀川水系	
	⑭	嵐山もみじ祭り	京都市	大堰川(桂川)	11月第2日曜	淀川水系	
	⑮	堤防まつり(堤防神社)	福知山市	由良川	8月15日	由良川水系	
	⑯	あやべ水無月まつり	綾部市	由良川	7月25日	由良川水系	
	⑰	大幣の神事	宇治市	宇治川	6月8日	淀川水系	
	⑱	勅祭 石清水祭	八幡市	放生川	9月14・15日	淀川水系	
	大阪府	⑲	天神祭	大阪市	大川(堂島川)	7月24・25日	淀川水系
		⑳	川施餓鬼	大阪市	正連寺川	8月26日	淀川水系
	兵庫県	㉑	出石神社	豊岡市	円山川		円山川水系
	奈良県	㉒	吉野川祭り花火大会	五條市	吉野川	8月15・16日	紀の川水系
		㉓	綱掛け神事	明日香村	飛鳥川	1月11日	大和川水系
	和歌山県	㉔	御船祭	新宮市	熊野川	10月15・16日	新宮川水系
㉕		紀の川流し雛	紀の川市	紀の川	3月下旬	紀の川水系	



## ⑲ 天神祭 (大阪市)



\*2

船渡御の行事。船渡御は御神霊を乗せた奉安船を中心に、供奉船が取り囲んで天神橋から大川をさかのぼって行き、川上の飛翔橋からは奉安船を迎えるための奉拝船が下って行く。双方合わせて100隻あまり。大川の中流に差し掛ると、水上祭が始まる。また、川の中ほどに固定された舞台船では、厳かな神楽や多彩な伝統芸能が上演される。



## ㉕ 紀の川流し雛 (和歌山県 紀の川市)

子供達の健やかな成長と、市民が平和で安全・安心できる生活を祈り、身のけがれや不浄を祓う行事。「お姫様」に扮した女性を先頭に紙雛を手に粉河分庁舎まで練り歩き、紀の川支川の中津川河原で紙雛を流す。水面には色とりどりの紙雛が映え、一足早い春の訪れを感じられる。

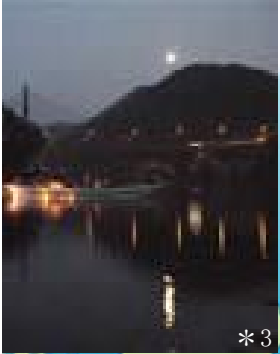




# 繋がり～

## ⑯ あやべ水無月まつり (京都府 綾部市)

綾部神社で100年前よりある万灯流しの行事。熊野新宮神社での綾部太鼓の奉納により祭が開幕し、1万個の灯籠が流れる「万灯流し」、綾部市の夏の夜空を彩る約4000発の花火が打ち上がる。花火の前後には祭りの一大イベント「あやべ良さ来い踊り」が行われる。



\*3



\*3

## ⑧ 三船祭(京都市)



\*2

## ⑩ 貴船の水まつり(京都市)



\*2

## ⑳ 御船祭(和歌山県 新宮市)



\*5

熊野速玉大社の例大祭のひとつで、千年以上の歴史を誇る船渡御。9艘の早船が勇猛果敢に先を競いつつ、約1キロ上流の御船島を3周し、乙基河原を目指す。昭和39年より和歌山県の無形民俗文化財に指定、平成28年以降は国指定重要無形民俗文化財に指定されている。



\*2



\*4

■川の祭り(行事)が全て網羅されているわけではありません。  
 ■行事形式が変わっている可能性があります。  
 ■開催時期については、旧暦、新暦の確認が不十分な点や毎年、開催日時が変わる場合があるので、実際に祭りに見に行く場合は、祭りの情報を地元市町村の観光関係の行政機関に問合せ確認ください。

# 水質調査結果

かつて近畿地方には、水質がとても悪い川(地点)もありましたが、生物調査や水に親しむイベント、清掃活動等から川の水を浄化する施設の整備まで、長年にわたる市民・企業・大学・行政の連携した取り組みによって、少しずつ改善しています。

令和元年は近畿地方の一級河川（直轄管理区間）の89%の地点で環境基準値を満足し、ここ5年間は横ばいで推移しています。

しかし、ダム・湖沼の調査地点では環境基準を満足していない地点があります。原因について、各調査地点の水質状況を十分に把握し、効率的・効果的な対策を実施していくことが求められています。

# 主要河川の地点別年平均水質

地点別にBOD年平均值をみると、熊野大橋(熊野川)、熊野川河口(熊野川)、岸上橋(紀の川)、曲里(揖保川)、山崎(揖保川)、上中橋(北川)、高塚(北川)が近畿で最も良好な水質(BOD 0.5mg/L)でした。

令和元年の近畿地方17河川の地点別年平均値

水系名	河川名	調査地点		各地点のBOD年平均值(mg/L)
		地点数	府県名	
新宮川	くまのがわ 熊野川	2	和歌山	<b>熊野大橋 0.5</b> <b>熊野川河口 0.5</b>
紀の川	きのかわ 紀の川	9	奈良・和歌山	大川橋 0.6 御蔵橋 0.6 恋野橋 0.6 <b>岸上橋 0.5</b> 三谷橋 0.6 藤崎井堰 0.7 船戸 0.8 新六ヶ井堰 2.5 紀の川大橋 1.2
大和川	やまとがわ 大和川	8	奈良・大阪	上吐田 2.6 太子橋 3.3 御幸大橋 2.9 藤井 2.8 国豊橋 2.2 河内橋 1.9 浅香新取水口 1.8 遠里小野橋 1.9
淀川	よどがわ 淀川	10	滋賀・京都・大阪	洗堰下 0.9 宇治橋 0.8 隠元橋 0.7 観月橋 0.8 宇治川大橋 0.8 宇治川御幸橋 0.9 枚方大橋 0.8 鳥飼大橋 0.8 菅原城北大橋 0.9 伝法大橋 4.4
淀川	やすがわ 野洲川	2	滋賀	石部 0.7 服部 0.6
淀川	かつらがわ 桂川	5	京都	渡月橋 0.6 西大橋 0.6 久世橋 0.6 羽束師橋 1.1 宮前橋 0.9
淀川	うだがわ 宇陀川	4	三重・奈良	安部田 0.7 高倉橋 0.9 辻堂橋 0.7 室生路橋 0.7
淀川	なばりがわ 名張川	4	三重・京都	新夏見橋 0.8 名張 0.9 家野橋 0.9 高山ダム下流 0.9
淀川	きつがわ 木津川	8	三重・京都	大野木橋 0.8 長田橋 1.1 岩倉橋 1.1 島ヶ原大橋 1.3 笹瀬橋 1.2 恭仁大橋 0.8 玉水橋 0.7 木津川御幸橋 0.7
淀川	いながわ 猪名川	4	大阪・兵庫	呉服橋 0.7 軍行橋 0.9 猪名川橋 0.6 利倉 2.7
加古川	かこがわ 加古川	4	兵庫	大住橋 1.0 国包 1.7 池尻 1.4 相生橋 1.6
揖保川	いぼがわ 揖保川	6	兵庫	<b>曲里 0.5</b> <b>山崎 0.5</b> 嘴崎橋 0.6 龍野 0.6 上川原 0.8 本町橋 0.7
円山川	まるやまがわ 円山川	4	兵庫	府市場 0.6 立野 0.8 結和橋 1.0 港大橋 0.9
由良川	ゆらがわ 由良川	5	京都	音無瀬橋 0.8 筈巻橋 0.9 波美橋 0.6 由良川橋 0.7 以久田橋 0.6
北川	きたがわ 北川	3	福井	<b>上中橋 0.5</b> <b>高塚 0.5</b> 西津橋 0.6
九頭竜川	くずりゅうがわ 九頭竜川	4	福井	中角 0.6 新布施田 0.7 高屋橋 0.8 九頭竜川河口 1.1
九頭竜川	ひのがわ 日野川	2	福井	深谷 1.0 日光橋 1.6

## 用語

**主要河川** : 直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ水質調査地点が2地点以上ある河川を指す。

**BOD(生物化学的酸素要求量)** : 河川の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の汚れ(有機物)が微生物により分解されるときに消費される酸素の量のこと。BODの値が大きければ水が汚れていることを表す。

なお、環境省の定めるBOD下限値は0.5mg/L。

# 過去10年間の水質改善状況

猪名川と大和川では、過去から水質が大幅に改善されています。

10年前とBOD年平均値と比べ、水質改善幅の大きな地点を抽出しました。  
特に、猪名川の利倉地点は、直近10年の改善幅が全国で最も大きく、平成29年から3年連続で1位となりました。

過去からの河川水質改善状況

水系名	河川名	地点名	①平成21年 BOD 平均値 (mg/L)	②令和元年 BOD 平均値 (mg/L)	①と②比較 水質改善幅 (mg/L)
淀川	猪名川	利倉	7.9	2.7	5.2
大和川	曾我川	保橋	3.9	2.4	1.5

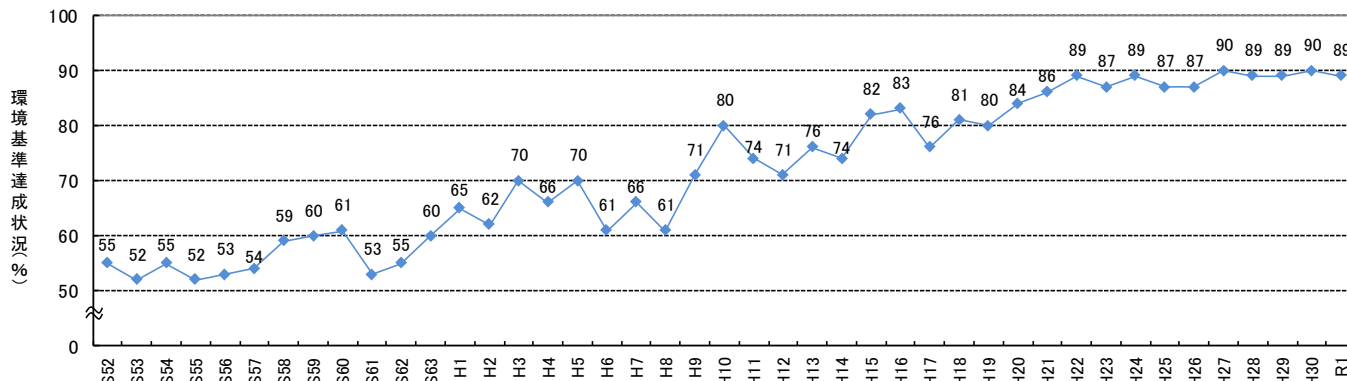
3年連続全国1位

## 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

近畿地方の一級河川で、(主要な指標であるBOD(またはCOD)の)環境基準を満足している地点の割合は89%で、ここ5年間は横ばいです。(環境基準の達成状況は75%値で評価)

環境基準の類型が指定されている115調査地点(河川全103地点、湖沼12地点)中、102地点(河川全101地点、湖沼1地点)が満足しました。

平成30年に満足し、令和元年に満足しなかった地点は、紀の川水系紀の川の新六ヶ井堰(河川)(0.9→3.3mg/L)、淀川水系淀川の伝法大橋(河川)(2.1→5.4mg/L)の2地点のみでした。



一級河川(湖沼を含む)における環境基準の満足状況の経年変化

### 用語

**COD(化学的酸素要求量)** : 湖沼や海域の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化されるときに消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、CODの値が大きければ水が汚れていることを表す。

**環境基準** : 人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準として決められた目標値。

人の健康の保護に関しては全国共通の基準値であるが、生活環境の保全に関しては地域ごとに基準値が定められている。

**類型** : 環境基本法に川の水質に関する基準値が定められており、河川水の利用目的に応じて、達成すべき値や維持していくための目標値がある。

生活環境項目の環境基準は、全国一律の値ではなく、類型別に基準値が定められている。河川等の状況や利用状況を考慮して、地域ごとに類型を指定する。

**75%値(BOD、COD)** : 年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目(nは日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%値とする。(0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。)

例えば、毎月1回測定していた場合、水質の良い方から数えて12×0.75=9番目の値で評価する。

**河川における類型ごとの環境基準値(BOD75%値)** : AA類型 : 1、A類型 : 2、B類型 : 3、C類型 : 5、D類型 : 8、E類型 : 10 (単位 : mg/L)

**湖沼における類型ごとの環境基準値(COD75%値)** : AA類型 : 1、A類型 : 3、B類型 : 5、C類型 : 8 (単位 : mg/L)

# ダイオキシン類実態調査結果

令和元年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、いずれの地点においても水質・底質の環境基準(水質:1pg-TEQ/L 底質:150pg-TEQ/g)を満足していました。

ダイオキシン類については、平成11年度から管内10水系47地点において継続的に水質と底質を調査しています。令和元年度はこのうち10水系24地点において実施しました。

年間の評価値では、水質・底質とも全地点で環境基準を満足していました。

検体ごとの結果では、大和川の1地点(藤井)の水質において要監視濃度を超過する値が検出されました。過去に要監視濃度を超過した地点は、重点監視地点として一定期間調査を継続しています。重点監視地点は令和元年度当初時点で水質の1地点(大和川:藤井)でした。

調査結果の概要

	調査地点数	要監視濃度を越えた地点数	環境基準値を越えた地点数
水質	19 地点	1 地点	0 地点
底質	24 地点	0 地点	0 地点

要監視濃度を超過した地点の調査結果

水系名	河川名	調査地点名	地点の種類		調査時期	水質		底質		
			基準監視地点 補助監視地点の別	重点監視地点		検体毎の調査結果 pg-TEQ/L	年間の評価値 (※) pg-TEQ/L	検体毎の調査結果 pg-TEQ/g	年間の評価値 (※) pg-TEQ/g	
				水質						底質
大和川	大和川	藤井	補助	○	春季	0.22	0.39	-	0.36	
					夏季	0.54		-		
					秋季	0.53		0.36		
					冬季	0.26		-		

※年間の評価値：水質：年平均、底質年間の最大値。

## 用語

**ダイオキシン類**：ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン』『ポリ塩化ジベンゾフラン』『ダイオキシン様ポリ塩化ビフェニル』の3種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

**要監視濃度**：国土交通省が重点的に監視する際の目安として定めている濃度で、環境基準値の1/2。要監視濃度を越えた地点については、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回るまで、重点監視地点として年4回の調査(通常の調査地点は年1回)を実施する。

**重点監視地点**：過年度の調査で要監視濃度を越えた地点のうち、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回っていない地点。

# 内分泌かく乱物質実態調査結果

令和元年度に実施した内分泌かく乱物質の実態調査では、1地点で重点調査濃度を超過しました。

内分泌かく乱物質については、平成10年度（一部項目については平成12年度）より管内10水系18地点のうち毎年3地点を調査しています。

令和元年度は淀川の宮前橋、菅原城北大橋、淀川大橋で実施しました。

令和元年度調査では、宮前橋でエストロンが重点調査濃度を超過しました。

調査結果の概要

物質名	調査地点数	重点調査濃度を越えた地点数
ビスフェノールA	3	0
エストロン	3	1
17β-エストラジオール	3	0
o,p'-DDT	3	0

## 用語

**内分泌かく乱物質**：動物の生体内に取り込まれた場合に、本来、その生体内で営まれている正常なホルモン作用に影響を与える外因性の物質。ホルモンに似た作用をする物質の総称で、環境ホルモンとも言われている。

内分泌かく乱作用（体内で本来のホルモンの働きをかく乱する作用）を持ち、メス化やがん化などの毒性がある。

**重点調査濃度**：国土交通省が重点的に調査を実施する際の目安として物質ごとに定めた濃度。各項目によってその濃度は異なり、定めていない項目もある。重点調査濃度を超過した項目については、年1回の調査を継続的に実施する。

重点調査濃度を3年連続して下回った場合は、重点調査地点を解除し、一般調査地点として6年に1回監視を行う。

**ビスフェノールA**：プラスチックや接着剤の原料として広く使われている。女性ホルモンと似た作用を持つ。

**エストロン**：女性ホルモンの一種。卵巣中で生産され、排泄物の形で排出されるので、下水を経由して河川中にも放流されている可能性がある。

**17β-エストラジオール**：女性ホルモンの一種。女性ホルモンの中でも作用が非常に強い物質である。排泄物に多く含まれており、下水を経由して河川中にも放流されている可能性がある。

**o,p'-DDT**：農薬の一つで、戦後、害虫駆除のため広く使用されたが、現在では使用が禁止されている。発がん性があり、残留性も強い。

# 感覚的な水質指標による 調査結果

河川をBODだけでなく多様な視点で評価する感覚的な水質指標による調査として、

- ① 人と河川の豊かなふれあいの確保
- ② 豊かな生態系の確保
- ③ 利用しやすい水質の確保

の3つの河川水質管理の視点別に指標のランクを設定し、平成17年から実施しています。

このうち、住民による測定が可能な項目（水のおいや川底の感触、ゴミの量など）については、住民との協働による調査も含め実施しています。

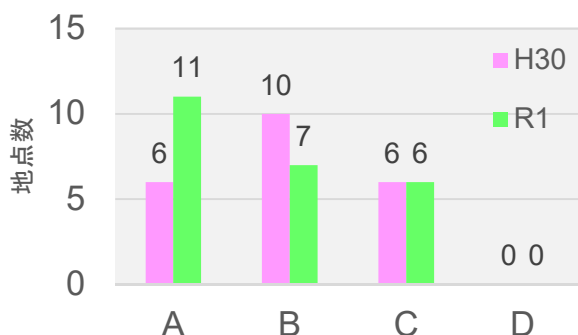
# 感覚的な水質指標による調査結果

『人と河川の豊かなふれあいの確保(4段階)』及び『利用しやすい水質の確保(3段階)』の視点ではAランクの地点が最も多く、『豊かな生態系の確保(4段階)』はBランクの地点が最も多い結果となりました。

感覚的な水質指標に基づく調査を、令和元年は6水系35地点で実施しました。このうち24地点で住民との協働による調査を実施しています。

## ①人と河川の豊かなふれあいの確保

「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点からは、平成30年と比較して、令和元年はAランク（顔を川の中につけやすい）と評価された地点が最も多くなりました。



調査地点数	
H30	22 (20)
R1	24 (24)

( ) は住民との協働による調査地点数

### 住民との協働項目

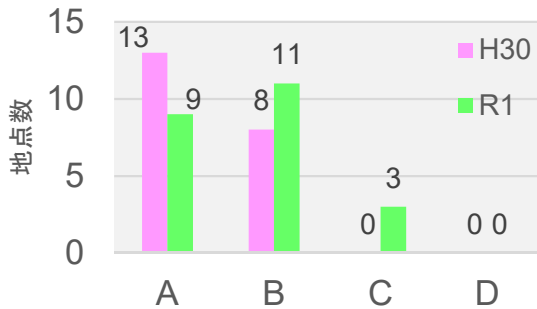
ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル				糞便性大腸菌群数 (個/100mL)
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水のおい	
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらない、または、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	不快感がない	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	ところどころヌルヌルしているが、不快でない		1000以下
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあつて不快である	30以上	ヌルヌルしており不快である	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあつてとても不快である	30未満		風下の水際に立つと、とても不快な臭いを感じる	

**用語** 感覚的な水質指標に基づく調査 : ゴミの量やにおいなどを人の諸感覚を用いて行う調査を指す。



## ②豊かな生態系の確保

「豊かな生態系の確保」の視点では、令和元年はBランクが11と最も多く、次いでAランクが9と多い結果でした。平成30年と比較して、Cランク（生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない）と評価された地点がありました。



	調査地点数
H30	21(18)
R1	23(18)

( ) は住民との協働による調査地点数

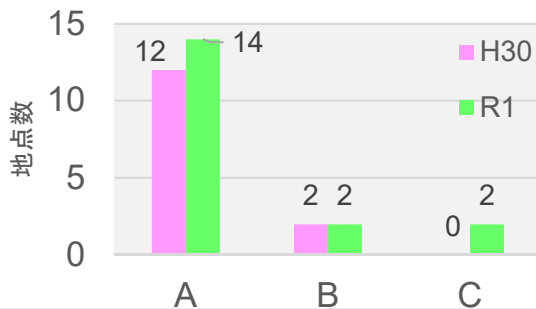
住民との協働項目

ランク	説明	評価項目と評価レベル		
		DO(mg/L)	NH <sub>4</sub> -N(mg/L)	水生生物の生息(※)
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

※水生生物の生息は流れのある瀬で調査を実施する。そのため、水生生物の生息はダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

## ③利用しやすい水質の確保

「利用しやすい水質の確保」の視点からは、令和元年はAランク（より利用しやすい）と評価された地点が最も多い結果でした。平成30年と比較してCランク（利用するためには高度な処理が必要）と評価された地点がありました。



	調査地点数
H30	14
R1	18

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		安全性 トリハロメタン生成能 (μg/L)	快適性 2-MIB (ng/L)	維持管理性 ジオスミン (ng/L)	維持管理性 NH <sub>4</sub> -N(mg/L)
A	より利用しやすい	100以下	5以下	10以下	0.1以下
B	利用しやすい		20以下	20以下	0.3以下
C	利用するためには高度な処理が必要	100を超えるもの	20を超えるもの	20を超えるもの	0.3を超えるもの

### 用語

- DO(溶存酸素)** : 水中に溶けている酸素量のこと、溶解量は水温、気圧、塩分、汚れの程度により変化する。汚染度の高い水中では、自浄作用により消費される酸素量が多いので溶存酸素量は少なくなる。きれいな水ほど酸素は多く含まれる。
- NH<sub>4</sub>-N** : 水中にアンモニウム塩として含まれている窒素のこと、主としてし尿や家庭下水中の有機物の分解や工場排水に起因するもので、水質汚染の指標となる。
- トリハロメタン生成能** : 下水処理場やし尿処理場の排水や水中に含まれているフミン質（有機態窒素化合物）や親水性酸などと消毒剤として用いられている塩素が反応して生じる消毒副産物である。トリハロメタンは発がん性が確認されたことによって、水質基準が決められた初めての有害化学物質である。
- 2-MIB、ジオスミン** : かび臭の原因物質。

# 水質事故等の発生状況

水質の異常を見かけたらすぐに**通報**してください！

最寄りの警察・消防・自治体・河川管理者に をお願いします

通報・連絡の際は、出動体制や処理体制をより万全なものとするため、特に以下3点の情報をお寄せください。

- 1.見つけた場所(川や橋の名前・目印となる建物など)
- 2.汚染物の種類(油・洗剤の泡など)
- 3.流出量(少し・たくさん)



水質の異常、  
水質事故とは・・・？

- 油の流出、浮遊



- 有害物質(シアンや農薬、化学物質、酸、アルカリ等)の流出



- 魚のへい死



- 薬品や塗料による濁水や工事等による人為的な濁水  
(洪水などの自然現象による濁水は除く)



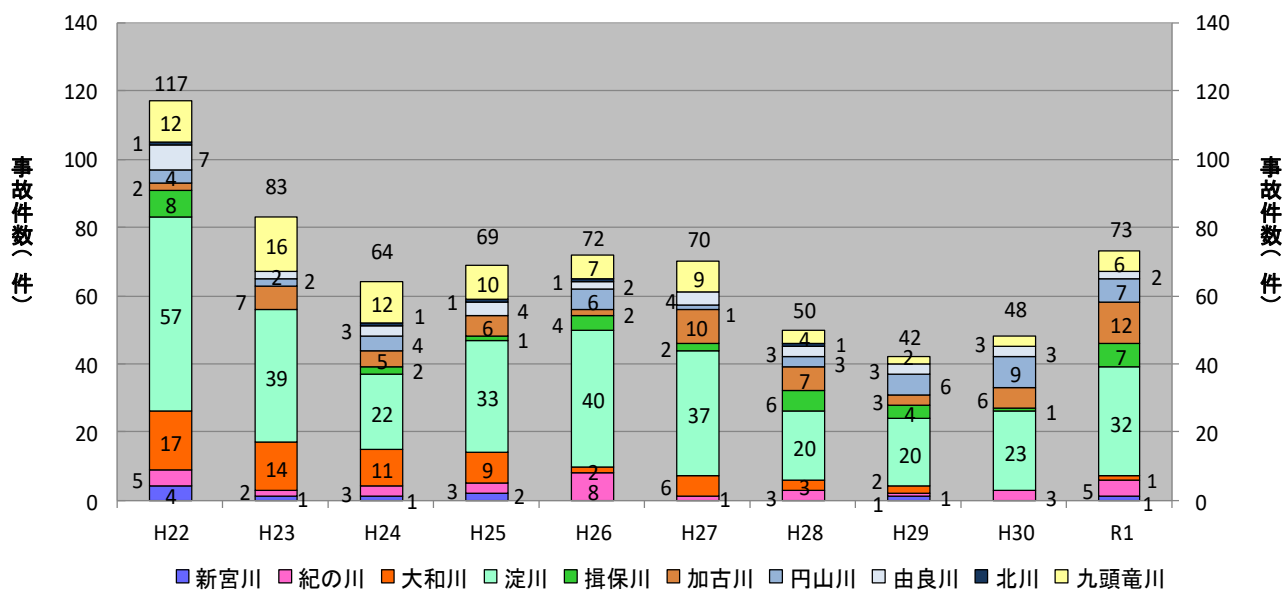
# 水質事故等の発生状況

令和元年に近畿地方整備局管内で確認された水質事故等が、73件ありました。

令和元年に近畿地方整備局管内で73件の水質事故等が発生しました。

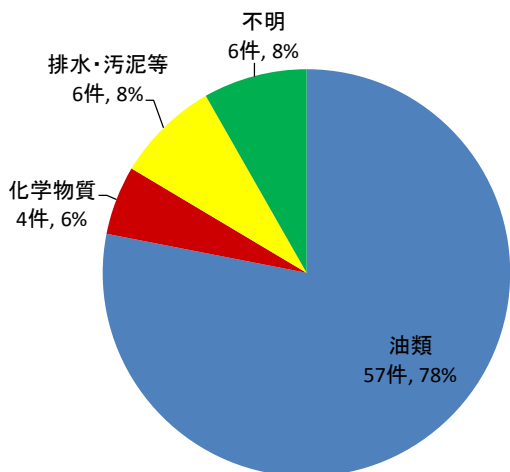
水系別では淀川水系の確認件数が32件で最多であり、事故の種類別では油類によるものが多く、原因別では工場等での操作ミスが多い結果となりました。また、近畿全体の事故確認件数は、平成26年以降は減少傾向にありましたが、令和元年は対前年比で約50%増加しました。

## 水系別経年変化

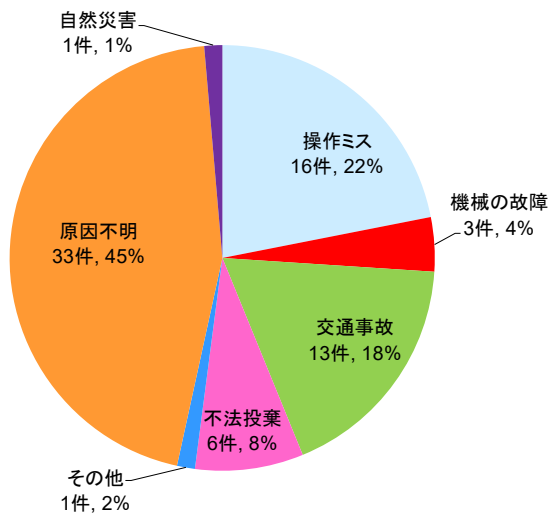


水系別水質事故確認件数

## 令和元年『種類』別の水質事故発生割合



## 令和元年『原因』別の水質事故発生割合



令和元年事故「種類」「原因」別割合

# STOP! 水質事故

## ～拡散防止に向けた取組み～

交通事故などで車から燃料が流れ出たり、工場からの油漏れなどにより、河川に油などが流れ出る事故は後を絶ちません。

一方、河川の水は、飲料水や田畑への農作物、工場での冷却水などに使われ、人々の生活に無くてはならないものです。

ひとたび、河川の水が汚染されると被害が広範囲に影響する恐れがあり、社会生活や自然環境に甚大な影響を与えかねません。

このため、一刻も早く対策し、被害を最小限に抑えるよう、各水系や地域毎に、行政や水利用者などをつくる水質汚濁防止に関する協議会を構成して、連携を密にし、いつ起こるか判らない水質事故に日夜備えています。



吸着式オイルフェンスの設置例



オイルマットによる吸着作業

### 取組みの事例

#### 定期的な講習会の実施

講習会では、油事故の初動対応の重要性、拡散防止対策とは、オイルフェンスやオイルマットなど資機材の効果的な使用方法、河川内での使用が禁止されている油処理材の特性、現場作業者の安全管理など、担当者の認識を一致させることにより、円滑に事故対応ができるよう技術力の向上に努めています。



#### 現地対応訓練の実施

現地において資機材を用いた設置訓練を行い、現場担当者と作業者の連携や動作などを確認し、円滑に初動対応が行えるよう努めています。

